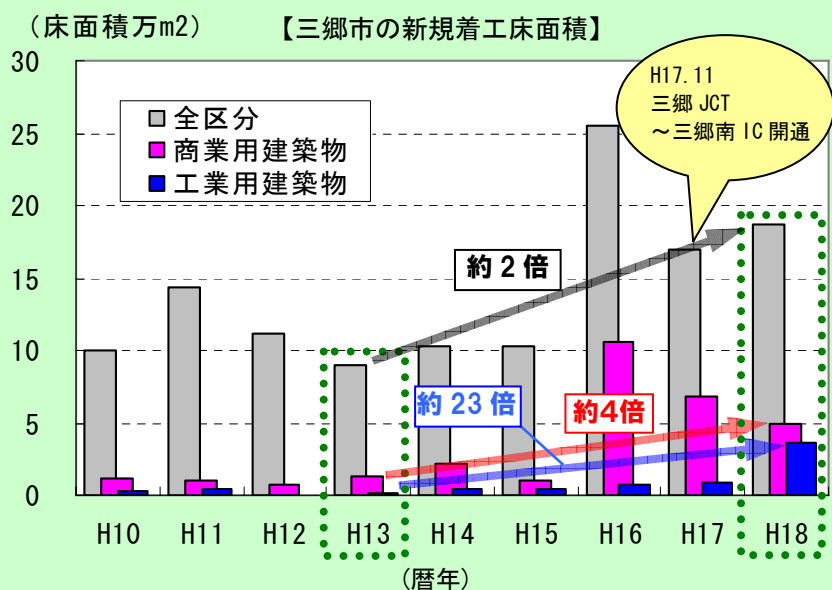


①沿線への企業進出が急増し、地域が活性化

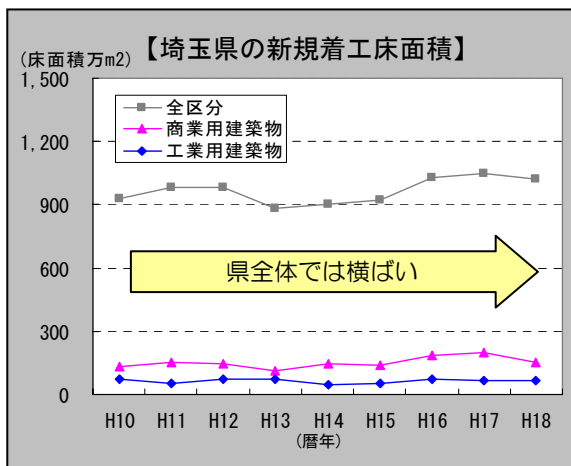
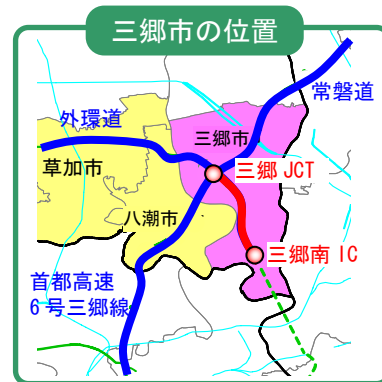
- ・沿線（三郷市内）の新規着工は開通前に比べて約 2 倍に増加
- ・そのうち、商業系は約 4 倍、工業系は 20 倍以上に増加

- 三郷市内では三郷 JCT～三郷南 ICが開通した平成 17 年前後（H18 と 5 年前の H13 の比較）で、新規着工床面積合計は全区分で約 2 倍、商業系で約 4 倍、工業系で 20 倍以上に増加

新規着工は、全区分で約 2 倍
商業系で約 4 倍、工業系で 20 倍以上



資料：建築統計年報（財）建設物価調査会、
H18 は月値公表データによる



沿線企業アンケート結果

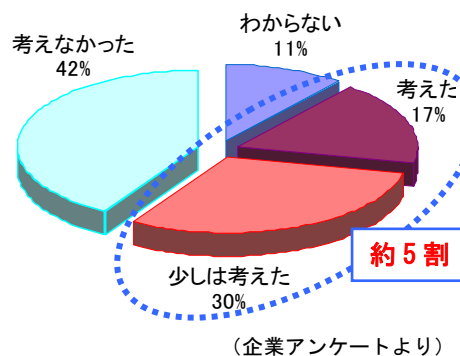
【調査概要】

- ・実施期間：H18.11～H19.1
- ・配布対象：三郷市内に立地する 1,624 社
（回答数：580 社）
- ・アンケート内容：外環道の利用状況、立地動機、
営業活動への影響など

■その他自由記述の欄

- 時間の短縮、関越道・東北道との連絡も早くなった。早く市川最終点まで完成させてほしい。
- さいたま市や和光方面に行くのに、かなり時間が短縮された。
- 三郷南 IC の利用により、移動時間が正確に読めるようになった。

企業立地と外環道との関連性を同うアンケート項目では、上のグラフで数字が伸びている平成 16 年以降に立地した企業の約 5 割が外環道を考慮して立地しています。



三郷 JCT 付近から川口市方向を臨む